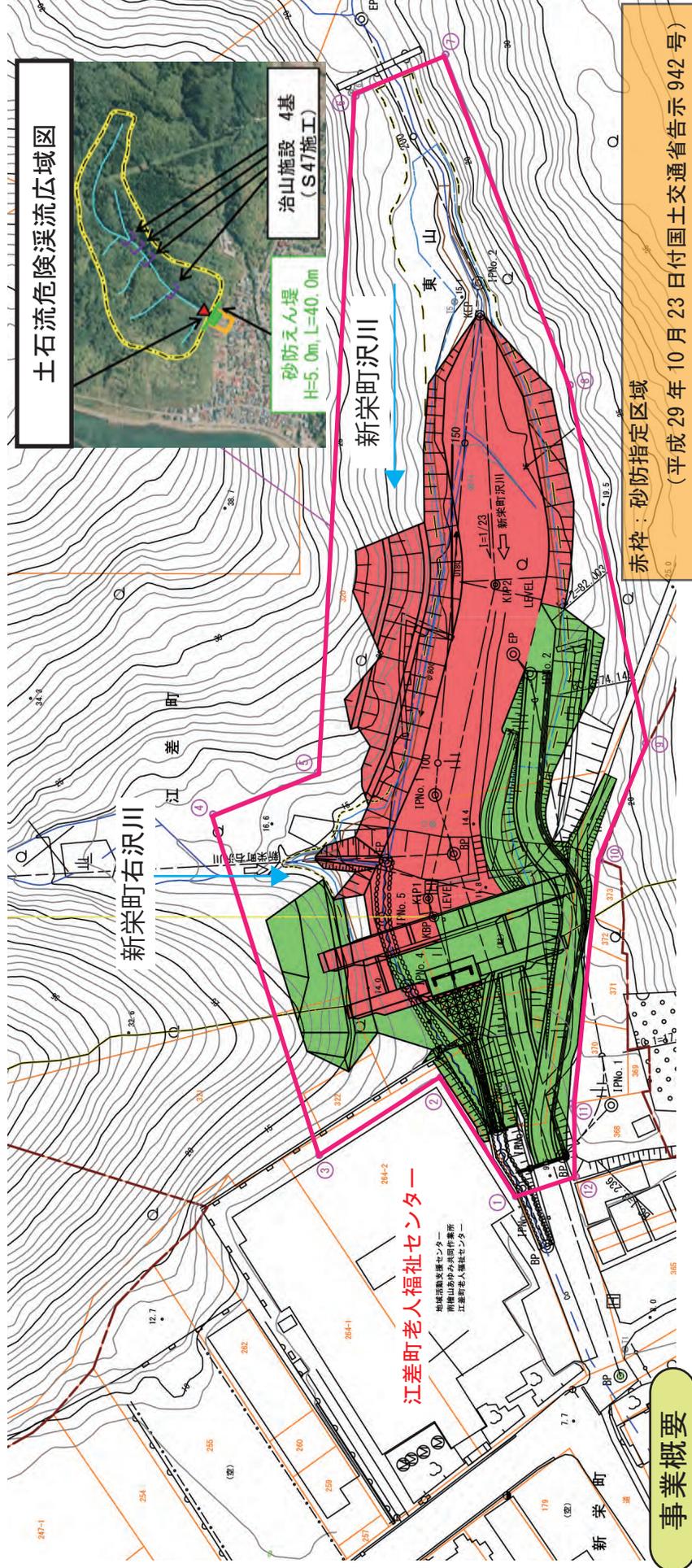


平成30年第2回江差町議会定例会資料 No.2

資料9：新栄町沢川通常砂防事業（砂防えん堤工）の概要等【議案第7号関係】	…P	1
資料10：新栄町沢川通常砂防事業に係る工作物撤去等について【議案第8号関係】	…P	3
資料11：旧中村家住宅及び旧檜山爾志郡役所改築整備時における補助金内訳及び計画 から完成までの工程表	…P	5
資料12：北海道教育庁文化財・博物館課における横山家の調査経過	…P	7
資料13：当主横山敬三氏からの整備要請の内容	…P	8

新栄町沢川通常砂防事業（砂防えん堤工）



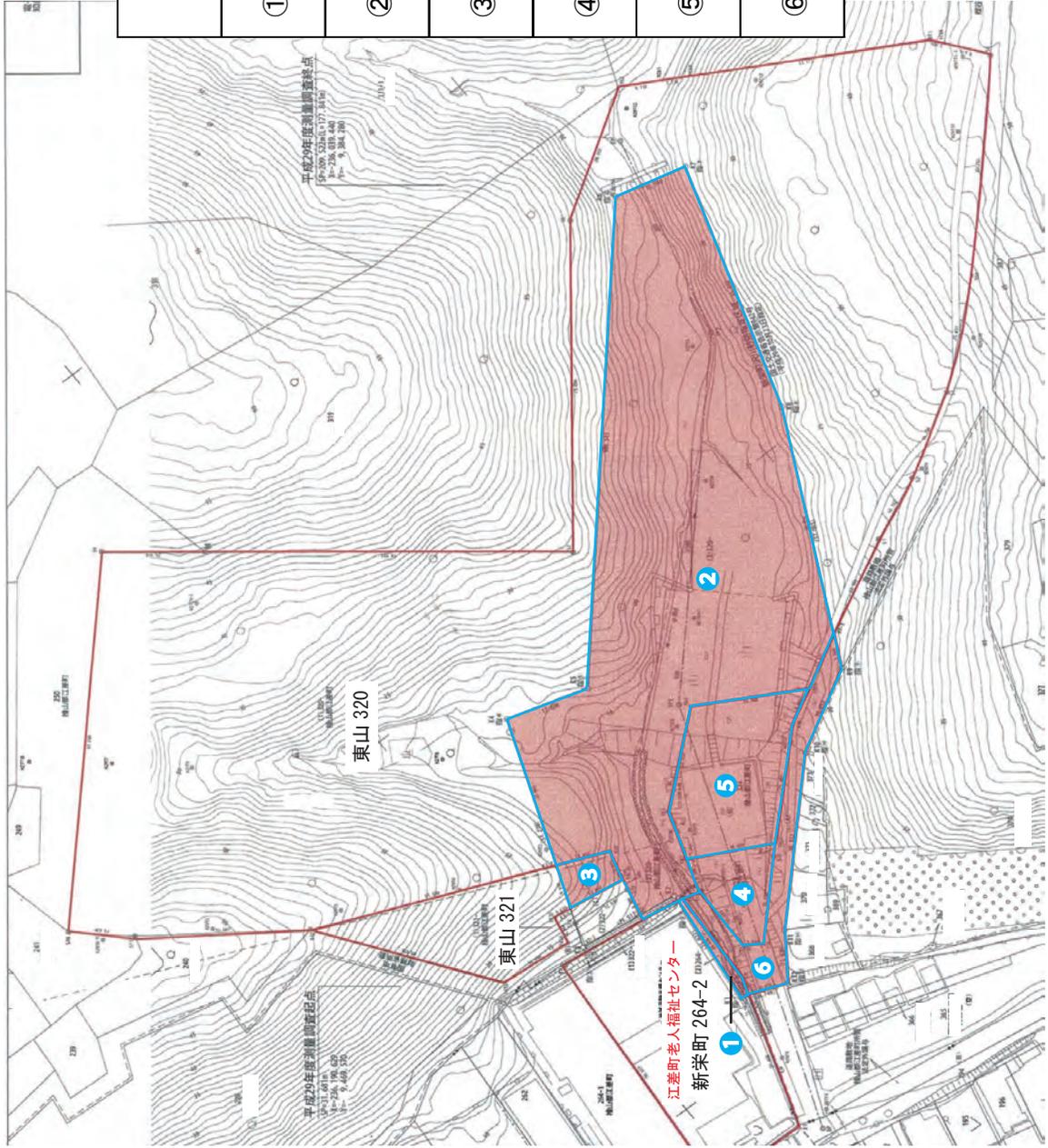
事業概要

実施主体：北海道 事業工期：H30（赤色）～H31（緑色） 事業費：6千2百万円（H30）

実施内容：砂防えん堤1基設置（H=5m, L=40m）

- ・新栄町沢川及び新栄町右沢川は、土砂災害警戒区域に指定（H23.3指定）されており、豪雨による山腹・溪岸崩壊に伴う土砂・立木の流出を防ぐためのえん堤を設置。

新栄町沢川通常砂防事業（町有地処分箇所図）



字	地番	台帳地目	地積 (㎡)	備考
①	新栄町 264-2	宅地	38.93	一部
②	東山 320	山林	5118.63	一部
③	東山 321	原野	93.62	一部
④	東山 323	宅地	248.39	
⑤	東山 324	雑種地	724.28	
⑥	東山 710	雑種地	412.87	

新栄町沢川通常砂防事業に係る工作物撤去等

【事業概要】

北海道新栄町沢川通常砂防事業に伴い、老人福祉センター周辺の工作物（トイレ、水飲場、排水設備、灯籠、ベンチ、外灯等）の撤去及び立木の伐採

(事業費：1,009千円)



旧中村家住宅及び旧檜山爾志郡役所改築整備時における補助金内訳及び計画から完成までの工程表

【旧中村家住宅】

★住宅の概要と建物調査工事等の経過

旧中村家は江差の全盛期とも言われる明治初期、下町のメインストリートに面して、近江の呉服商大橋宇兵衛が建てたものである。中村家の初代米吉は、大橋宇兵衛と同郷で、この大橋江差支店の支配人をしており、大正四年に大橋家から敷地・建物を譲り受けた。昭和46年12月28日、国指定重要文化財に指定される。そして昭和49年、建物は江差町に寄付され、江差町は一般公開をしてきたが、破損の度が増加してきたので、昭和55年から保存修理工事に着手した。

- ・昭和45年
北海道教育庁が道内建造物緊急保存調査を実施
- ・昭和46年12月
国の重要文化財に指定
- ・昭和54年7月
基本設計を財団法人文化財建造物保存技術協会に依頼
- ・昭和55年6月
本工事入札・契約
- ・昭和56年4月
本工事・付帯工事入札・契約
- ・昭和56年12月
竣工引渡し

★工事概要

1. 工事名	旧中村家住宅保存修理整備工事	
2. 工事期間	昭和55年6月30日～昭和56年12月17日	
3. 総事業費	・昭和54年度	80,000千円
	・昭和55年度	65,200千円
	・昭和56年度	88,280千円
	合計	161,480千円

★補助金関係

・昭和54年度	国庫補助金	40,000千円
	北海道補助金	20,000千円
	町負担金	20,000千円
・昭和55年度	国庫補助金	32,600千円
	北海道補助金	16,300千円
	町負担金	16,300千円
・昭和56年度	国庫補助金	44,140千円
	北海道補助金	22,000千円
	町負担金	22,140千円
	合計	161,480千円

旧中村家住宅及び旧檜山爾志郡役所改築整備時における補助金内訳及び計画から完成までの工程表

【旧檜山爾志郡役所】

★庁舎の概要と建物調査等の経過

旧檜山郡役所庁舎は檜山・爾志両郡の郡役所で、明治20年（1887）に創建された北海道内に唯一現存する郡役所の遺構として、平成4年3月31日北海道有形文化財（北海道教育委員会告示第31号）に指定される。

江差町における明治時代の洋風建築物として貴重な歴史的文化遺産であり、後世に伝えるための全面修復すべく、保護・保存整備に向けた各種調査を実施。

- ・昭和55年7月
北海道大学工学部建築学科 越野 武教授の指導による建物調査
- ・平成4年10月
旧檜山爾志郡役所建物調査団（越野 武団長）による基本調査
- ・平成5年12月
旧檜山爾志郡役所建物調査団（越野 武団長）による実測調査
- ・平成6年10月
旧檜山爾志郡役所庁舎保存整備事業推進委員会の設置
- ・平成7年9月
旧檜山爾志郡役所庁舎保存整備事業に伴う実施設計業務委託
- ・平成8年7月
北海道市町村振興補助金、及び地域総合整備事業債導入による修復工事

★工事概要

1. 工事名 旧檜山爾志郡役所庁舎保存整備工事
2. 工事期間 平成8年7月1日～平成10年3月10日
3. 事業費 442,548千円

内訳

- ・建築工事 247,200千円
- ・電気設備工事 13,905千円
- ・暖房・換気設備工事 13,895千円
- ・資料展示工事 45,675千円
- ・古文書収蔵庫新築工事 69,510千円
- ・設計及び工事監理業務 47,135千円
- ・監視カメラ設置工事他 3,668千円
- ・一般備品関係 1,560千円

★補助金関係

- ・平成8年 155,700千円 → 「地域総合整備事業債」（起債）
- ・平成9年 209,100千円 → 「地域総合整備事業債」（起債）
- ・平成8～9年 62,700千円 → 「北海道市町村振興補助金」

北海道教育庁文化財・博物館課における横山家の調査経過

1. 平成26年10月31日～11月1日

横山家主屋の耐震予備診断調査を実施。実施者は「北海道文化遺産活用活性化実行委員会」で事務局は北海道文化財保護協会。

診断結果は、「軸部構造に関わる事項において、道路側壁面が開口部で構成されているため有効な壁が少ないこと等から「耐震性能に問題がある可能性が高い」と確認された。また、柱と土台の一体性の確保について、築後の経年劣化を踏まえ土台部分の腐朽が気になるとの報告を受けた。

2. 平成26年12月12日

北海道教育庁文化財・博物館課A氏が来庁。

横山家の毀損は特に「三番蔵」「四番蔵」「ハネダシ」において進行しており、具体的な修繕を施す必要があるとの報告を受けた。

3. 平成27年3月27日

北海道教育庁文化財・博物館課A氏が来庁。建物調査を実施。

横山氏立会いの下、「三番蔵」「四番蔵」の基礎構造を確認。(簡易的調査)「三番蔵」中柱、壁面柱、「四番蔵」中柱を調査。

4. 平成28年3月14日

北海道文化財保護審議会B氏、北海道教育庁文化財・博物館課A氏、C氏が来庁。

調査の主眼は、毀損が著しい建物構造の確認。「三番蔵」「四番蔵」「ハネダシ」の毀損状態を確認し、その原因と修復手段について意見交換。

毀損状態について以下の点を再確認。

- ①「三番蔵」「四番蔵」「ハネダシ」とも建物中央部の柱部分において、地下から水が上がっている。
- ②「三番蔵」は、外壁下部において毀損が進行している。
- ③「三番蔵」は、床面が山状に湾曲している。
- ④「ハネダシ」は、全体的に毀損が進行している。

当主横山敬三氏からの整備要請の内容

- ・要望月日 平成28年12月16日
平成29年 8月 1日
 - ・要望者 横山家当主 横山 敬三氏
 - ・要望内容
 - (1)横山家の北海道指定から国指定に向けた評価替え
 - (2)横山家維持管理に対する町教委としての支援のあり方についての検討
 - (3)「ハネダシ建築」「元の海岸線風景」を説明するための案内説明版の設置
- ※2回の要望とも内容は同じ。